



おくさづ  
**奥佐津  
ふるさとガイド**



# おくさづガイドマップ

## Okusazu Guide Map

わたしたちのふるさと奥佐津にはたくさんの「たからもの」があります。この「たからもの」は私たちの祖先が大事に守り継いできたものばかりです。私たちもその「たからもの」をたくさん見つけて守り継いでいきましょう。



(豊岡市竹野町桑野本)

みかわけ  
三川山  
887.79m

みかわけ  
三川

はら  
土生

もとみづか  
本見塚

おおかじ  
大桐

百太郎  
大谷

はた  
畑

かすの  
萱野

はやと  
準人

ひみさか  
上网

しもさか  
下岡

にししほか  
西下岡

にゅうじ  
丹生地

佐  
津  
川

3651.2m  
神ノ浦山

あじ  
米地

くと  
九斗

奥安木

米  
地  
川

### 凡例

- 黄色の道…広い道  
(国・県道など)
- 白色の道…少し狭い道  
(県・町道など)
- 灰色の道…細い道  
(林道・登山道など)



# おくさづガイドマップ

Okusazu Guide Map

九斗・米地・丹生地



旧多田神社 社地

多田神社

多田石切り場跡

曹任トンネル

祀幸徳寺  
地藏堂

丹生地

勢多端城跡  
(銅鑼出土地)

荒神社

ヘタバナ遺跡

山崎川

神ノ浦山



九斗 いちょうの大木  
幹周し3.3m高さ22mのご神木

米地

万灯の火振り祭

九斗

姫塚古墳

石造仏

兵主神社  
いちじょうの夫木

式内社 佐受神社

米地川

せきの地藏さん



丹生地 多田石切り場跡  
寺の石塔を補修するためにここから石を切り出しました。



米地 式内社 佐受神社



神ノ浦山  
山頂には宝篋印塔などの石造物があります。昔から日の神様の山として慕われてきました。

# おくさづガイドマップ

Okusazu Guide Map

西下岡・下岡  
上岡・隼人



はやと 不動尊  
毎年7月に不動尊祭があります。昔、戦争に行った人が無事に帰ってくることを願ってお参りしていました。



かまでじ 上岡 真徳寺



しもむか 奥山古墳  
約1400年前の古の人の古墳です。少し壊れていますが石組みが残っています。



にしむか 西光寺







# 興佐津小唄

作詞作曲 黒田 高 (興佐津小学校12代校長)

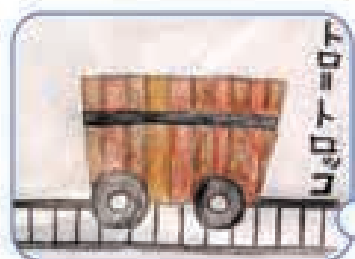
私たちの興佐津を歌いこんだ素朴な郷土歌  
みんなで伝え継いでいきましょう

1. 佐津の駅 おり テクシで  
行けば 九斗右 米地左  
丹生地村道 奥深い 奥深い



米地佐受神社北約400mから米地・九斗方面を望む

2. トロのトロ道 トロトロと  
下岡すぎリャ 上岡の  
高い学校の屋根ひかる  
屋根ひかる



今から約100年前に佐津川の改修がおこなわれました。その際にトロッコを使って土砂を運搬していました。



西下岡墓地から上岡方面を望む

3. 隼人橋こえ 畑をすぎ  
山坂のぼる 4キロ半  
三川権現 鎮座ます 鎮座ます



畑大石碑北約700mから畑方面を望む

4. 土生の坂こえ本見塚  
ここは昔の旅の宿  
京のもどりがなつかしや なつかしや



旧本見塚村



# みりょく 三川山魅カマップ

見守るように奥佐津の南側に鎮座する三川山  
昔から、私たちの生活の一部として、また信仰の対象として大切にされてきました。

三川山頂  
標高887.79m  
(水山三等三角点)

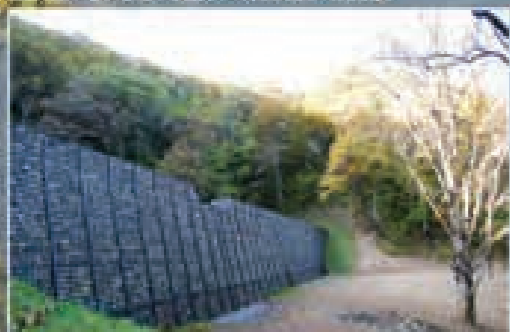
## 三川山メモ

頂上には多くのアンテナがあります。このアンテナはテレビなどの中継施設です。その南側の標高917mのところには、また別の多くのアンテナ施設があります。両方とも私たちの生活を支える大切な施設です。

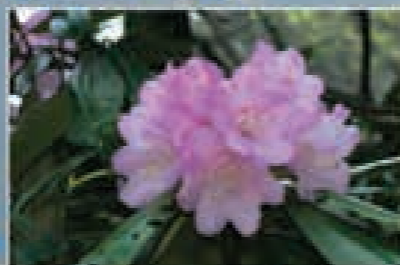


## しゃくなげコース

西日本最大級の治山堰堤



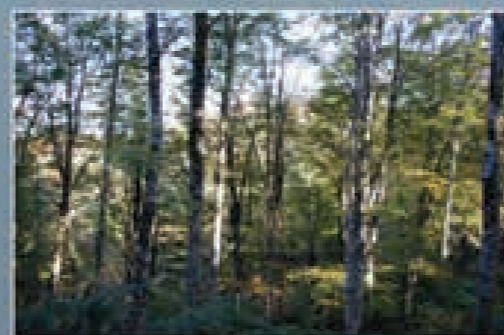
平成21年完成



しゃくなげ

## 奥の院コース

あなたは見える？奥の院



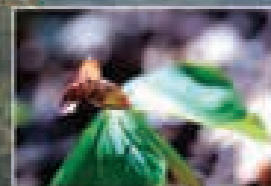
ブナ林



## 三川山を彩る花たち



キクザキイチゲ



エンレイソウ



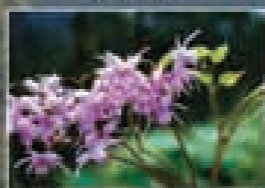
カタクリ



トキワイカリダサ



トキワイカリソウ



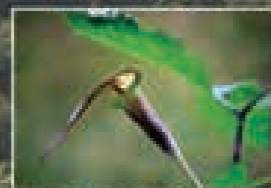
イカリソウ



アセビ



ヒメレンゲ



マムシダサ



マンサク



ヤマハルリソウ

急傾斜  
気をつけて!!

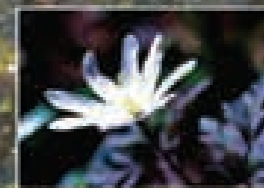
急傾斜  
気をつけて!!



ハナイカダ



子ヤラメラソウ



アズマイチゲ



ニリンソウ

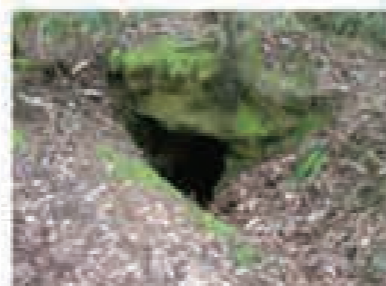
# 興佐津の歴史

## ～興佐津に残る祖先の暮らし～

私たちの興佐津には大昔から人々が暮らしてきました。  
昔の人達が暮らしたあとを訪ねてみましょう。

### 安坂山古墳 [下岡] (町指定文化財)

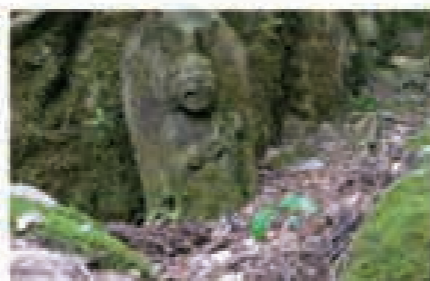
佐津川左岸の山を少し上がったところにあります。現在では入り口が埋まっていますが、天井の石が落ちており、そのすきまから内部を覗くことができます。



安坂山古墳

### 弘仙鉢山 [本見塚]

弘仙鉢山は1620年頃に発見され、もっとも盛んなときには家が1000軒近くもあったと伝えられています。興佐津にはその他にも畑と土生にまたがる若山鉄山、華人、三川にも鉢山がありました。



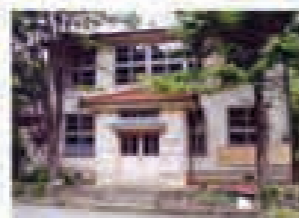
本見塚馬頭観音  
弘仙鉢山のある各の入り口にあります。昔、鉢石の掘出しに使われた馬を供養するために祀られました。

### 学校の移り変わり

興佐津での最初の小学校は上岡の真徳寺におかれた上岡小学校です。その他にも丹生地、畑、三川、土生、本見塚にもおかれたましたが、丹生地と畑は興佐津小学校に、三川には三川分校、土生、本見塚には土本分校が置かれました。しかしながら三川分校は2009年、土本分校は1965年に閉校し興佐津小学校に統合されました。



興佐津小学校旧校舎

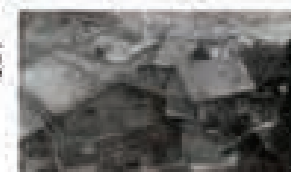


三川分校



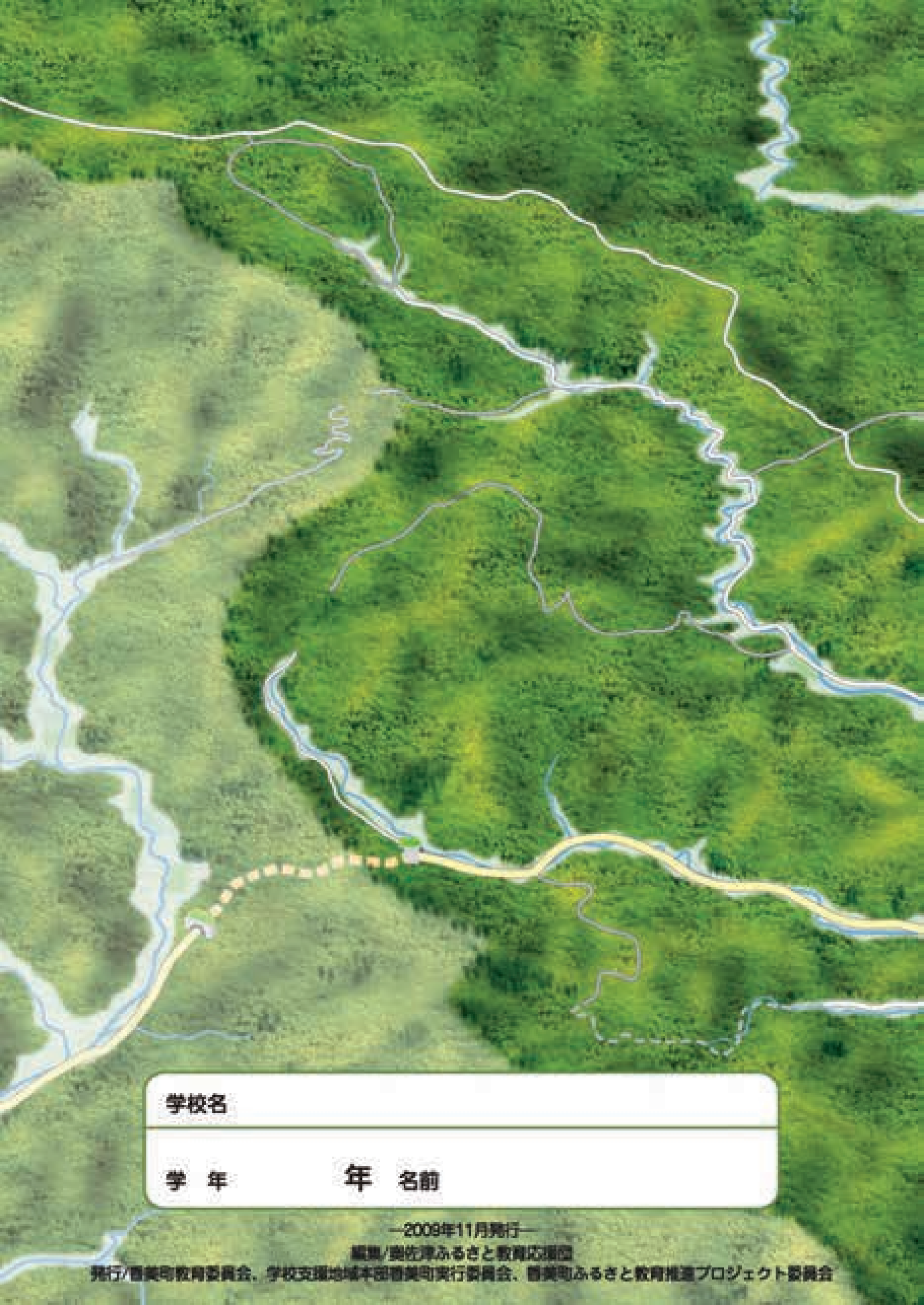
土本分校

時代	主な出来事
古代	華人 ミノフ高原遺跡 (縄文時代) 安坂山古墳、奥山古墳 (古墳時代)
中世	770 三川山蔵王権現が開山される
近世	1603 徳川家康が江戸幕府を開く 1620年頃 本見塚の弘仙鉢山が発見される 1800年頃 土生の若山鉄山が発見される 1832 土石流が発生し権現堂、弥勒寺などが流失 人口 1,234人
近代	1867 明治維新 1875 上岡真徳寺に上岡小学校を開く 1879 校舎を新築し、育秀小学校と改称 1880 三川、畑、丹生地、本見塚、土生に支校を開く 1887 育秀簡易小学校と改称。畑、丹生地も通学区域となる。 1889 10ヶ村が集まり興佐津村となる。 1892 育秀尋常小学校と改称 1893 興佐津尋常小学校と改称 1898 米地、九斗を通学区域に加える。洪水災害発生 1902 興佐津小学校三川分教場を設置 1905 興佐津尋常高等小学校と改称し、土本分教場を設置 人口 2,370人 1927 校舎を現在地に新築して移転 1941 興佐津国民学校と改称、太平洋戦争開戦 1945 太平洋戦争終戦 1947 興佐津小学校と改称 1955 興佐津村が合併して香住町となる。 1959 校区変更により米地区は佐津小学校に編入 1961 (旧)土生トンネル開通 1965 興佐津小学校土本分校閉校 1966 華人ミノフ高原に梨園地造成 1968 旧本見塚村閉村 人口 1,368人 1976 興佐津小学校三川分校休校 1977 下岡香住線が開通 1993 (新)土生トンネル開通 1996 土生バイパス開通 2005 合併して香美町となる。地域高規格道「香住道路」開通 人口 945人 2009 興佐津小学校三川分校閉校



日本見塚村閉村の頃





学校名

学 年

年 名前

—2009年11月発行—

編集/奥佐津ふるさと教育広場

発行/曹美町教育委員会、学校支援地域本部曹美町実行委員会、曹美町ふるさと教育推進プロジェクト委員会